

国立大学法人埼玉大学

財務レポート 2010-2011

平成22事業年度

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

Saitama University Financial Report 2011

教育

◎国際人として活躍するための
多様な教育プログラム など

研究

◎最先端・世界最高水準の研究
など

「知」の継承・発展、新しい価値の創造
(次世代を担う高度な人材の育成)

社会貢献

◎地域社会へ貢献する大学
◎開かれた大学 など



埼玉大学イメージキャラクター
『メリン』ちゃん

大学カラーであるライトグリーンを使い、
才能が芽吹いていく新芽をイメージしています。

目次

はじめに	1
国民の皆様へ	2
○本学の財務状況	
○国から支援された財政	
○教育への取組	
○研究への取組	
在学生・受験生の皆様へ	6
○学生生活支援	
地域・企業の皆様へ	7
○開かれた大学	
○地域との連携	
○民間企業等との共同研究	
○外部資金受入状況	
教職員の皆様へ	13
○研究関係経費	
○業務運営のための経費	
○経費節減に向けた取組	
財務諸表等の概要	15
○貸借対照表の概要	
○損益計算書の概要	
○キャッシュ・フロー計算書の概要	
○国立大学法人等業務実施コスト計算書の概要	

【基本方針】

1. 埼玉大学は知の府としての普遍的な役割を果たす。

- (1)時代を超えた大学の機能として知の継承と発展、新しい知の創造を基本目標とする。
- (2)現代における大学の機能を踏まえて社会に信頼される大学を構築する。
- (3)学術研究の拠点としての存在感ある大学の構築を目指す。

2. 埼玉大学は現代が抱える課題の解決を図る。

- (1)大学の知を現代的課題の解決のために応用して社会の期待に応える大学を構築する。
- (2)首都圏の一角を構成する埼玉県下唯一の国立大学という特性を最大限に活かし、広域地域社会における社会的使命に応える首都圏の大学としての役割を果たす。

3. 埼玉大学は国際社会に貢献する。

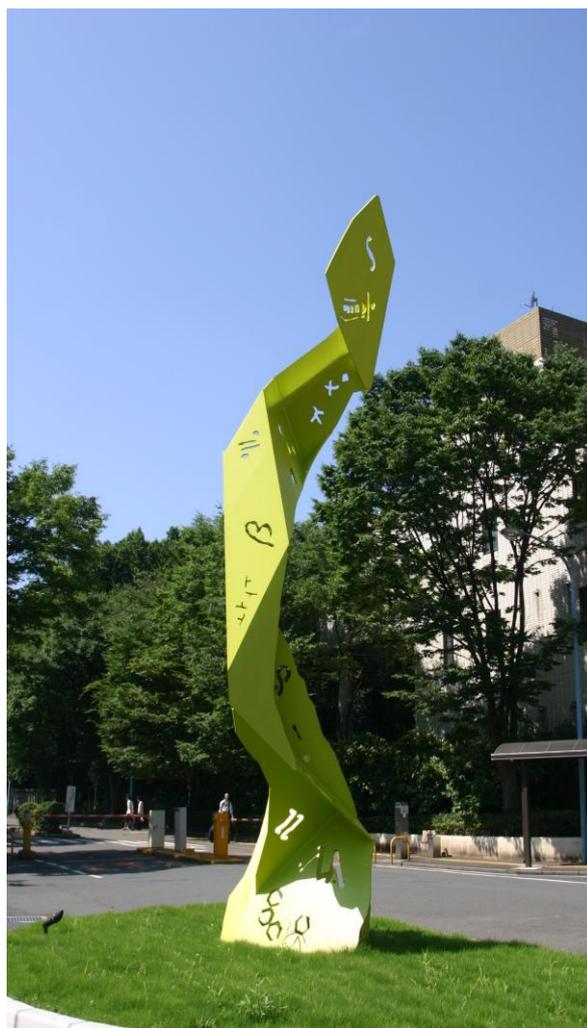
- (1)グローバル社会における大学として世界に開かれた大学を構築する。
- (2)人類が抱える現代的課題の解決に取り組み世界に貢献する大学の構築を目指す。

はじめに

本学における大学の業務運営を行うための財源は、国民の皆様からの貴重な税金や学生・保護者の皆様に納付いただく授業料などで賄われています。このことから、本学の財務状況等を国民の皆様や学生・企業の皆様などへ広く知っていただくために、本学のホームページ上で公表している財務諸表等のほか、ここに平成22年度の実績を中心とした財務レポートを公表するものです。

本学では、基本方針を掲げ、教育・研究活動などの業務運営を行っているところですが、今後も国立大学としての使命を果たしていくため、かつ、本学がさらに発展していくために、より一層皆様のご理解・ご支援をお願いいたします。

また、平成23年3月11日の東日本大震災以降、学生に対して安全・安心に配慮した取組を行っており今後も全力で取組んでまいります。



モニュメントのコンセプト

一地にのぞみ、知をまとう

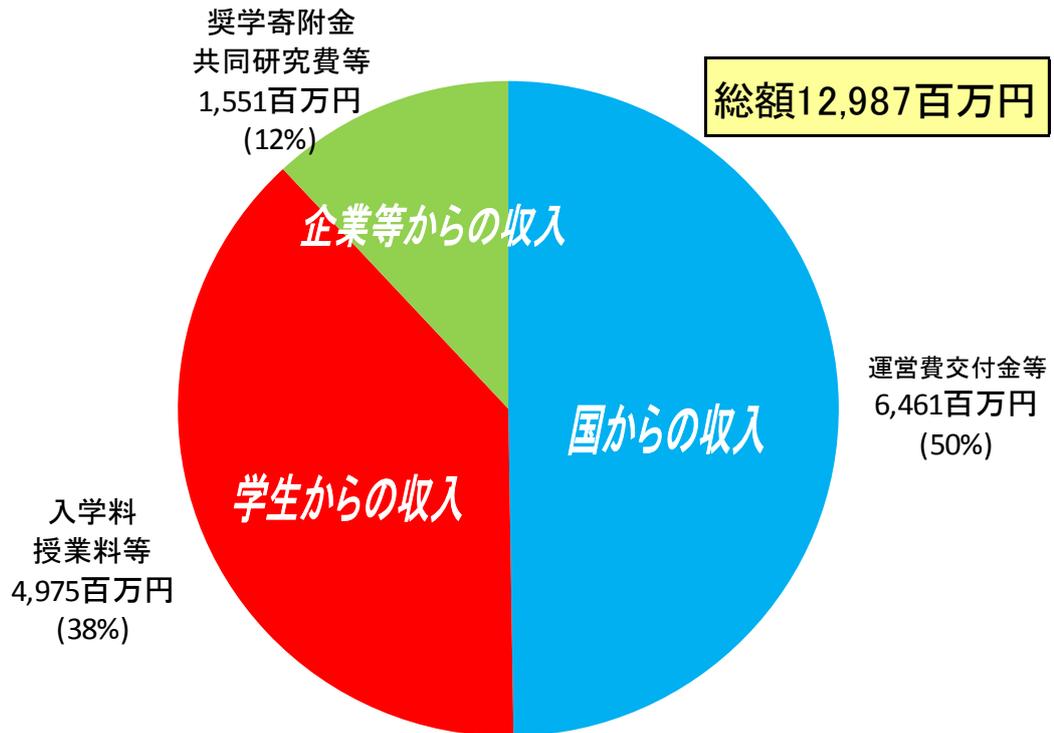
「知」の象徴として、様々な研究や学問分野に関わる記号をモチーフに穴を穿ち、大学の持つ多面性を象徴化しています。

(正門バスロータリーに設置)

国民の皆様へ

○本学の財務状況

平成22年度収入予算



平成22年度の収入予算は、運営費交付金や施設整備費補助金など国からの交付によるものが約50%、学部学生、大学院生等からの入学料や授業料収入等が約38%、奨学寄附金や共同研究費等といった企業や研究機関等からの収入が約12%となっております。

★国民の皆様にご負担いただいているコスト

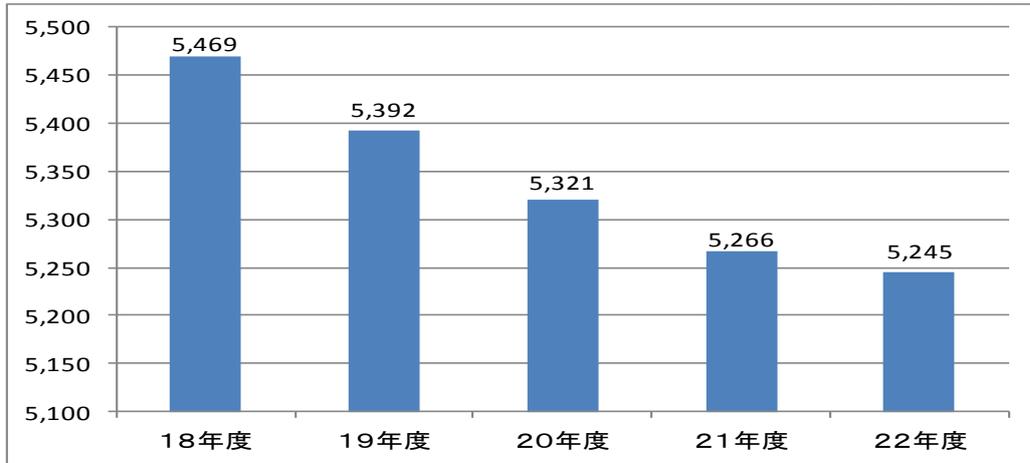
約 62 円 = $\frac{\text{本学に係る「平成22年度業務実施コスト」}}{\text{国民総人口(平成22年10月1日現在:総務省統計局)}}$

○国から支援された財政

運営費交付金（基盤的経費）

国立大学法人の業務運営のための財源として、国からが運営費交付金が交付されています。

過去5年間の運営費交付金（基盤的経費）の推移（単位：百万円）



施設費等

国から施設整備費補助金等が交付され、建物の建築・改修等を行っております。



附属小学校外壁改修



図書館トイレ改修

教育設備整備

平成22年度に、「ナノ構造体電子デバイス形成システム」を導入し、今日必要とされるナノ構造体電子デバイス形成技術の習得及び基礎的研究開発と新市場への展開を目指す人材の育成が可能となりました。



★教育関係経費

学生1人当たりの教育関係経費 約108万円

=(経常費用+教育関係人件費+教育関係資産取得額)÷8,849(学生数)

(単位：千円)

区分	教育経費
経常費用	2,107,175
教育関係人件費	6,196,277
教育関係資産取得額	1,285,255
合計	9,588,707

★研究関係経費

教員1人当たりの研究関係経費 約492万円

=(経常費用+受託研究費等+研究関係資産取得額)÷552(教員数)

(単位：千円)

区分	研究経費
経常費用	1,272,992
受託研究費等	965,905
研究関係資産取得額	474,553
合計	2,713,450

○教育への取組

本学は、専門的な深い知識、専門性のある幅広い基本的知識、知識を活用できる汎用的な能力を有する人材育成を行っています。

グローバル人材の育成

◆「地球規模の問題解決をリードする人材育成のための教育プログラム (Global Youth(GY))」

学生の専門分野に加え、多分野にまたがる基礎的知識を習得させ、多角的視点と確かな英語力で地球規模の問題解決を理論的、実践的にリードしていける人材を育成するプログラムです。

平成22年度	7名 派遣
--------	-------

理科力のある教員養成

◆地域全体の理科カレベルアッププロジェクト

教育学部で9割を占める理科専修以外の学生対象の理科実験プログラム及び理科専修学生向けの発展的理科実験プログラムを実施し、理科に関し力量ある教員を養成し、地域全体の理科教育の質の向上を図ることとしております。

英語教育

本学、独自に開発したシステムを使用し法人化以降、効果的な言語(英語)学習(通称:CALLシステム)を行うことにより、TOEIC(IP)試験になどにも着実に成果を挙げています。

学生の自主的活動支援プロジェクト「Campus plus プロジェクト」

学生の自主性・創造性を発揮できる活動経費を支援しています。

【平成22年度採択プロジェクト】

うらわ祭り活性化プロジェクト	浦和祭り実行委員会との連携で企画運営に参加
夏の巡回人形劇公演	児童保育施設との連携で人形劇を公演
埼玉大生も大いに埼玉大学を語ろう!	ディスカッションを中心にシンポジウムの開催
有機農業から広がる輪	生ゴミを使った堆肥作りの拡張
キャンドルナイト『ぼ』	廃油とペットボトルの空き容器でキャンドルを作成



有機農業から広がる輪



夏の巡回人形劇公演

○研究への取組

特出した研究成果

- ・世界最速の乱数生成を達成。(理工学研究科)
大学独自で1秒間に17億個(平成20年8月)、さらにNTTとの共同研究により1秒間に20億8千万個の生成を達成(平成23年2月)。今後は、大型コンピュータやインターネット使用上での情報セキュリティ分野や暗号分野での応用が期待されます。
- ・並列多重磁気浮上システムの開発。(理工学研究科)
単一の電力増幅器(アンプ)で複数の対象物(浮上体)を磁気力で浮上させることができるシステムを開発しました。今後は、同様の設備の低コスト化、軽量化、省スペース化に寄与することが期待されます。

最先端・世界最高水準を目指した研究

脳科学融合研究センター (URL:<http://www.saitama-u.ac.jp/iron/hP-kenkyo/shinkou/nou.htm>)

平成22年度においては、理化学研究所と連携し本学教員が開発した世界最先端の蛍光分子センサーを活用した脳機能測定技術をもちいて、脳と末梢器官の機能連関や脳の発生発達に関して世界的な研究を行っています。

環境科学研究センター (URL:<http://iest.saitama-u.ac.jp/>)

平成22年度においては、「地圏熱エネルギー利用を考慮した地下水管理手法の開発」が科学技術振興機構(JST)の「戦略的創造研究推進事業(CREST)」に採択されました。

今後は、地下の温度変化や地下水に及ぼす影響を把握し、持続的で高度な地下水利用及び管理手法の開発を目指します。

科学研究費補助金等

本学は、研究者個人や研究グループに交付される「科学研究費補助金等」の獲得にも力を入れています。これらの補助金等は、学術研究を遂行していくための資金として重要な役割を果たしています。

平成22年度における科学研究費補助金等の額は、約5億4千万円です。

区 分	平成22年度	
	金 額(千円)	件数
科学研究費補助金(文部科学省)	426,899	268
厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)	4,000	2
産業技術研究助成事業助成金(経済産業省)	500	1
循環型社会形成推進科学研究費補助金(環境省)	900	1
先端研究助成基金助成金(文部科学省)	200	1
間接経費	111,620	
合 計	544,119	273

在学生・受験生の皆様へ

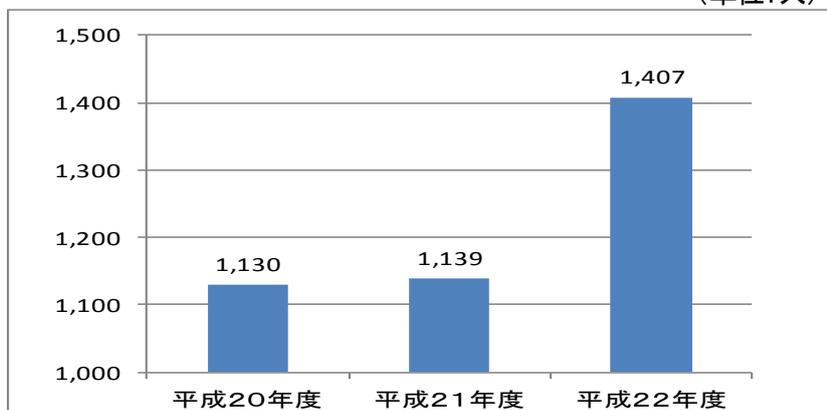
○学生生活支援

入学金・授業料免除等

本学は、経済的理由により納付が困難であり、かつ学業優秀と認められた学生に対して入学金や授業料の免除を実施しています。

過去3年間の免除実施人数

(単位:人)



埼玉大学成績優秀者奨学金

本学は、優秀な学生の受け入れ及び在学生のさらなる学業成績の向上、活力の醸成を図ることを目的として、成績等優秀者に学業奨励資金としての奨学金を給付しています。

平成22年度奨学金の名称	奨学金の額 (1人当たり)	授与人数
クレディセゾン・カード奨学金	250,000円	1人
越山勇奨学金	250,000円	2人
大内新興化学工業奨学金	150,000円	2人
白楽ロックビル奨学金	20,000円	2人

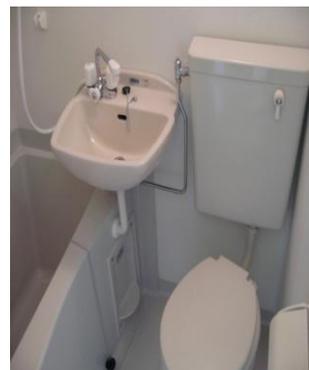
就職活動の支援

本学は、学部3年次生・大学院1年次生を対象とした就職セミナーや合同企業説明会等を開催し、学生の就職活動に必要な情報や知識を提供しています。

また、就職カウンセラーを配置した相談窓口の常設やメルマガによる就職情報の提供などにも積極的に取り組んでいます。

学生宿舎

平成22年11月に全室個室(272室)で、机・椅子、ベッド、エアコン等を装備した宿舎としてリニューアルし、平成23年1月から入居を開始しました。また、入館キーシステムのほか、防犯カメラの設置、警備員による巡視を行うなど安全面についても配慮しています。



地域・企業の皆様へ

○開かれた大学

公開講座等

本学では、生涯学習の機会を広く地域住民の皆様へ大学を深く理解していただくため公開講座や開放授業を多数開催しています。

また、県内の高校10校との協定に基づき、高大連携講座を実施しています。

平成22年度の主な実施事業は以下のとおりです。

- ・連続市民講座「埼玉学のすすめ part2」

第1回	「古代アンデスの神殿発掘調査－文化遺産をめぐる社会開発と国際協力－」
第2回	「ひもを使って数学を－結び目の研究で埼玉から世界へ－」
第3回	「人はどのように美を感じるのか－最新諸科学から美意識を解明する－」
第4回	「変動するアジアとどう向き合うか－タイ・バンコクから考える現代の変化と課題－」
第5回	「脳の性差－オス脳とメス脳ができる仕組み－」
第6回	「現代中国と日本－中国の台頭が意味するもの－」
第7回	「新しい社会基盤を求めて－身近な実世界の情報技術－」
第8回	「環境問題にバイオテクノロジーで迫る－身近になった遺伝子組換え技術－」
第9回	「はるかなる第二の地球－すばる望遠鏡から見える宇宙－」
第10回	「埼玉の農業と未来－農地制度を中心に－」

- ・「ミュージアム・カレッジ」
- ・経済学部市民講座 等。

事 項	平成22年度
公開講座等開催数 (延べ回数)	27回
受講者数 (延べ人数)	3,747人

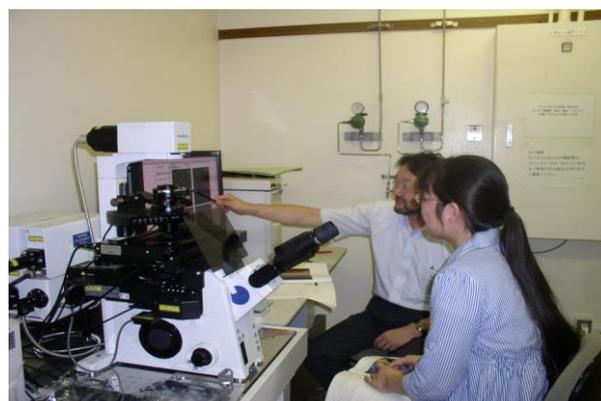
連続市民講座「埼玉学のすすめ」



サマースクール

科学分析支援センターでは、主に高校教員を対象として化学、生物分野等における計測技術や知識の向上を目指した講習を行っています。

平成22年度は、核磁気共鳴装置、走査型電子顕微鏡等を使用した講習を実施しました。



出張講義等

本学教員・大学院生などが県内の小・中学校及び高校へ出向いて行う出張講義などを開催し、地域社会との連携協力を深めています。

平成22年度は、熊谷高校 他56校に訪問し講義を行っております。

サテライトキャンパス

本学では、地域社会や産業界等の要請により、幅広く社会人教育を行うとともに学外研究者との連携・交流の強化を図り、それを通じて本学の教育研究をより活性化させる場として、2つのサテライトキャンパスを開設しています。

◎東京ステーションカレッジ

・活動内容

夜間の大学院経済科学研究科講義の開設、公開講座、シンポジウム、セミナーの開催、各種研究会、広報誌や入試案内など大学情報発信、東京ステーションカレッジ情報ライブラリー。

◎大宮ソニックシティカレッジ

・活動内容

夜間の大学院教育学研究科講義の開設、公開講座、シンポジウム、セミナーの開催、広報誌や入試情報など大学情報発信。



東京ステーションカレッジ

○地域との連携

次世代自動車環境関連技術イノベーション創出センター

平成22年7月に埼玉大学が代表となり、埼玉県、さいたま市、埼玉県経営者協会の4者が共同で埼玉大学の構内に「埼玉次世代自動車環境関連技術イノベーション創出センター」を設置しました。

本センターは埼玉地域の自動車関連産業を次世代自動車対応の産業に変革し、関連する新たな産業を創出していくために、電気自動車を中心とする次世代自動車関連基盤技術開発のイノベーション創出を目指した活動をしています。

これには、県内の関連企業や公私立大学、および埼玉県やさいたま市の関連団体が協力機関として参加しています。



秩父市との連携事業

地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的とした「包括連携協定」を締結しました。
 今後は、過疎地の自立活性化に協力していきます。



日本政策金融公庫と産学連携の協力推進

本学が地元企業との産学連携を推進するため、(株)日本政策金融公庫の埼玉県内5支店との間で「産学連携の協力推進に関する覚書」を締結しました。今後は、大学が保有する研究成果および技術シーズを日本政策金融公庫が地域の中小企業・小規模企業や農林水産業に橋渡しをする形で産学連携が推進されることにより、企業の経営発展や地域の活性化につながっていくことが期待されます。



○民間企業等との共同研究

地域オープンイノベーションセンター (URL:<http://www.saitama-u.ac.jp/coic/>)

本センターは、地域と大学との連携を強化するとともに、本学の知的財産紹介等の情報提供や研究の結果得られた成果を知的財産化し、その財産を用いて社会に技術移転するなどの活動を行っています。

特許出願・取得件数

区分	20年度	21年度	22年度
出願数(件)	50	68	59
取得数(件)	6	16	16

※外国出願を含む。

特許権収入

区分	20年度	21年度	22年度
件数(件)	3	4	5
金額(千円)	1,315	2,250	2,424

※特許権譲渡等を含む。

また、文部科学省からの補助金により、「食の安全と健康」をテーマとして大麦の機能に関する研究を行い、その成果を活用して埼玉県内のうどん加工業者などと連携し、「埼玉大学 大麦カうどん」を試作、販売しました。



むつめ祭での販売風景

- ◆土壌改良を目指した共同研究の成果により、埼玉大学ブランド醸造酒「鳳翔閣」が完成しました。
(民間企業との共同研究)



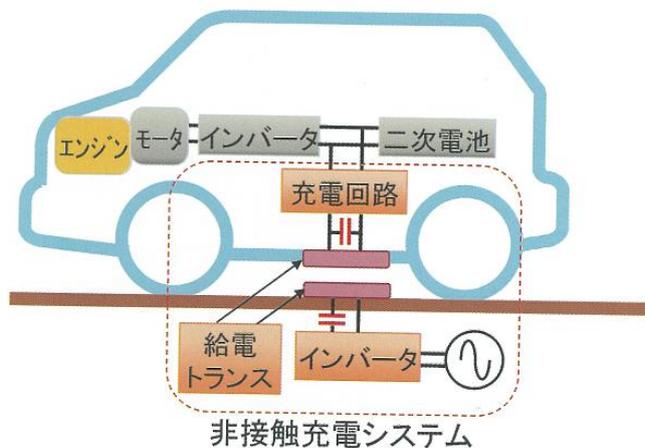
各蔵元の鳳翔閣

- ◆障害者自立支援のため、車椅子利用者と介護者双方を支援することを考え「付添いの人と一緒に動くロボット車椅子」を開発しました。
(科学技術振興機構からの受託研究)



埼玉県産業教育フェアに出展

- ◆「電気自動車用非接触充電システム」を企業と共同で開発しました。
これにより、電気自動車の充電がスムーズに行われることが期待されています。
(独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) の補助金)



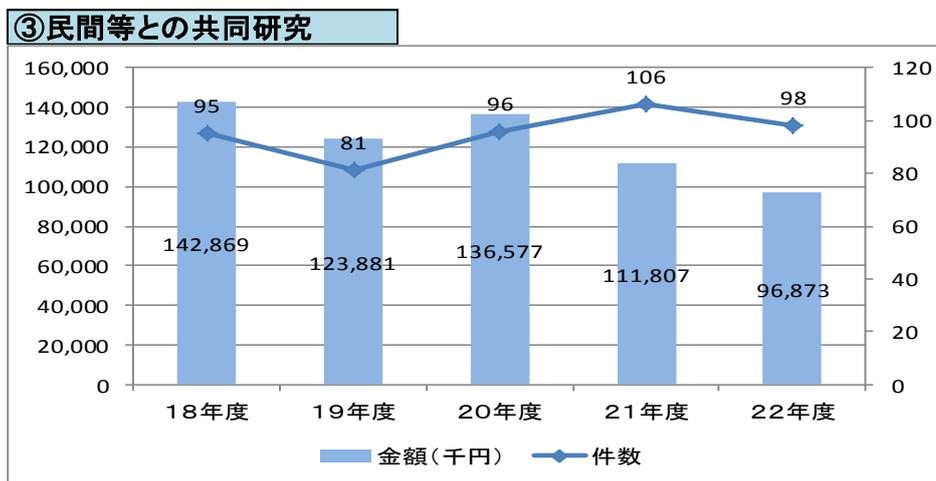
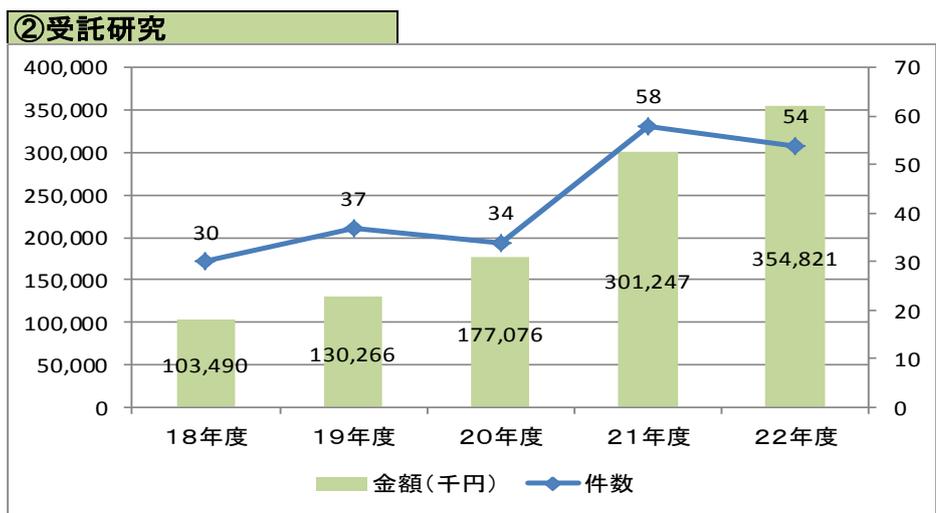
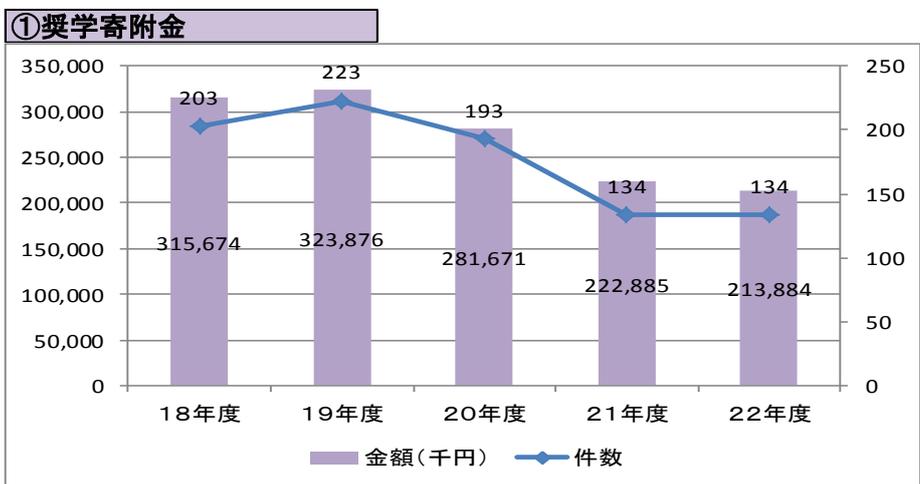
非接触充電システム

電気自動車用非接触充電システム

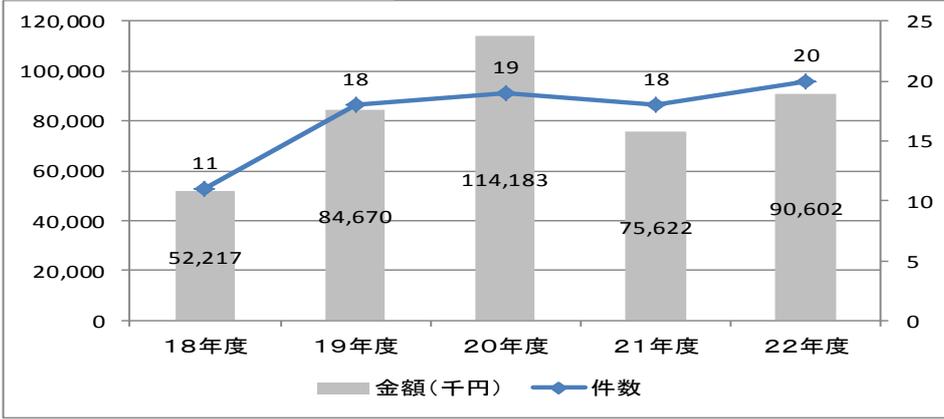
○外部資金受入状況

本学は、主に国からの運営費交付金や学生から納付される授業料収入などにより、大学の業務が行われています。それに加えて、補助金等の競争的資金、企業や地域の皆様方の寄附金、企業・自治体等と協力して行う受託研究、共同研究、受託事業などの資金を活用させていただいています。

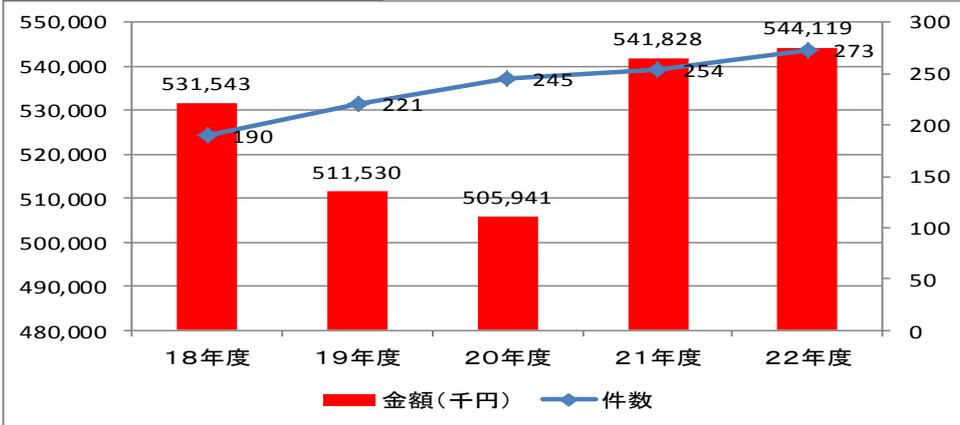
◎資金別の過去5年間の推移



④受託事業

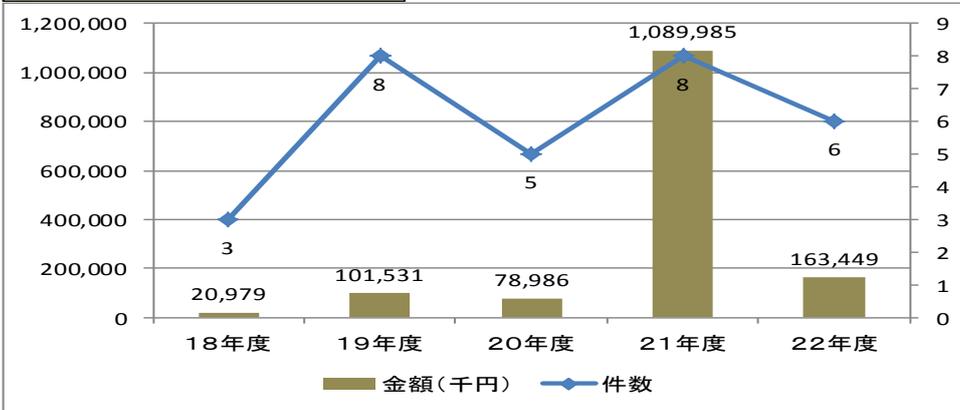


⑤科学研究費補助金等



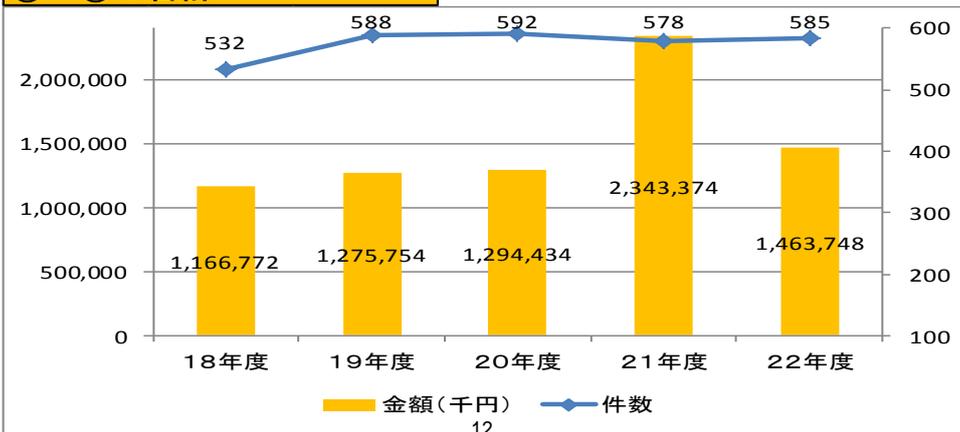
※各年度に交付を受けた金額で、分担者への送金分等は差し引いておりません。

⑥その他補助金



※平成21年度は補正予算による設備整備費補助金、約7億8千万円を含んでいるため一時的に高額となっています。

①～⑥の合計



教職員の皆様へ

○研究関係経費 (再掲)

教員1人当たりの研究関係経費 約492万円
 =(経常費用+受託研究費等+研究関係資産取得額)÷552(教員数)

(単位：千円)

区 分	研究経費
経常費用	1,272,992
受託研究費等	965,905
研究関係資産取得額	474,553
合 計	2,713,450

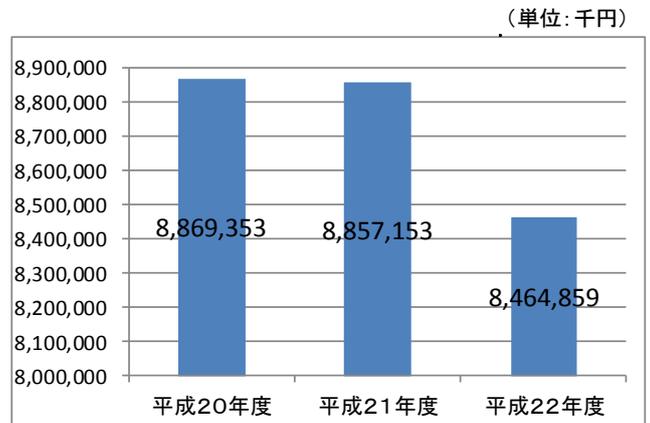
○業務運営のための経費

人件費

平成22年度においては、業務費の約71%を占めていますが、国の総人件費改革方針等を踏まえ抑制に努めています。

◎人件費総額(退職金を含む) (単位：千円)

平成20年度	平成21年度	平成22年度	対前年度
8,869,353	8,857,153	8,464,859	▲392,294



一般管理費

一般管理費は、大学の管理運営に要する経費です。平成22年度においては、対前年度比0.7%減少しています。

区 分	平成21年度	平成22年度	対前年度
一般管理費	596,524千円	506,158千円	▲90,366千円

平成22年度一般管理費内訳 (単位：千円)

区 分	金 額
消耗品費・備品費	57,034
印刷製本費	20,637
水道光熱費	28,946
旅費交通費	10,370
通信運搬費	14,584
保守費	38,517
修繕費	45,269
広告宣伝費	30,780
報酬・委託・手数料	181,551
その他	78,460
合 計	506,158

※金額は、区分毎に千円未満を切り捨てているため合計額とは一致しません。

○経費節減に向けた取組

本学は、光熱水の使用にあたり項目毎に節減目標を定め、部局ごとの毎月の光熱水使用量を学内ホームページに掲載することにより、各部局の節減に関する取組みを促しました。

大学会館屋上へのソーラーパネル設置や各所照明の LED ランプへの交換、省エネタイプの電化製品への切替えなどにより省エネルギー化を図っています。

また、清掃などの業務委託に係る包括契約やエレベータ保守等の複数年契約等の推進を図るなどしてスケールメリットや事務の省力化による経費の節減も図っています。

今後も、引き続き経費節減へ向けた取組みに努めてまいります。

大学会館屋上のソーラーパネル



平成 22 年度発電量 28,412kwh (大学会館電気使用量の約 5%)

財務諸表等の概要

平成22年度財務諸表等は、下記URLからご覧いただけます。ここでは、前年度と比較した概要を掲載いたします。

(埼玉大学財務諸表 URL : <http://www.saitama-u.ac.jp/guide/pdf/21financial.pdf>)

○貸借対照表の概要

貸借対照表は、決算日(毎年3月31日)における、国立大学法人の資産・負債・純資産がどのような状態(財政状態)かを明らかにしたものです。

(単位:百万円)

資産の部				負債及び資本の部			
勘定科目	22年度	21年度	対前年度増減額	勘定科目	22年度	21年度	対前年度増減額
固定資産	73,767	74,021	▲ 254	固定負債	6,368	6,003	365
有形固定資産	73,269	73,647	▲ 378	資産見返負債	6,074	5,863	211
土地	55,011	55,011	0	その他の固定負債	294	140	154
建物・構築物	12,812	12,752	60	流動負債	3,238	4,206	▲ 968
工具器具備品	1,666	2,028	▲ 362	運営費交付金債務	248	0	248
図書	3,733	3,465	268	寄附金債務	703	709	▲ 6
その他の有形固定資産	47	391	▲ 344	前受受託研究費等	32	48	▲ 16
無形固定資産	174	152	22	前受金	618	642	▲ 24
特許権	10	7	3	預り金	264	185	79
ソフトウェア	29	40	▲ 11	未払金	1,170	2,363	▲ 1,193
電話加入権	6	6	0	その他の流動負債	202	258	▲ 56
その他の無形固定資産	127	97	30	負債合計	9,606	10,209	▲ 603
投資その他の資産	325	224	101	資本金	66,780	66,780	0
投資有価証券	0	0	0	政府出資金	66,780	66,780	0
長期性預金	300	200	100	資本剰余金	▲ 500	▲ 101	▲ 399
その他	25	24	1	利益剰余金	597	1,275	▲ 678
流動資産	2,716	4,141	▲ 1,425	(うち教育研究運営改善積立金)	117	321	▲ 204
現金及び預金	2,574	3,633	▲ 1,059	(うち積立金)	0	115	▲ 115
未収学生納付金収入	83	70	13	(うち当期総利益)	481	840	▲ 359
その他の流動資産	58	437	▲ 379	純資産合計	66,877	67,954	▲ 1,077
合計	76,482	78,162	▲ 1,679	合計	76,482	78,162	▲ 1,679

※金額は、百万円未満を四捨五入して表示。

○損益計算書の概要

損益計算書は、一会計期間(毎年4月1日から3月31日)における国立大学法人の運営状況を明らかにしたものです。

(単位:百万円)

費用及び総利益				収 益			
勘定科目	22年度	21年度	対前年度増減額	勘定科目	22年度	21年度	対前年度増減額
経常費用	12,445	12,726	▲ 281	経常収益	12,751	12,908	▲ 157
業務費	11,933	12,120	▲ 187	運営費交付金収益	5,894	6,156	▲ 262
教育経費	1,654	1,566	88	授業料収益等	5,080	4,946	134
研究経費	820	829	▲ 9	受託研究費等収益	558	463	95
教育研究支援経費	453	405	48	寄附金収益	258	296	▲ 38
人件費	8,465	8,857	▲ 392	施設費収益	78	121	▲ 43
受託研究費等	541	463	78	補助金等収益	156	317	▲ 161
一般管理費	506	597	▲ 91	資産見返負債戻入	484	353	131
財務費用等	6	8	▲ 2	雑益等	243	256	▲ 13
臨時損失	6	1	5	目的積立金取崩額	175	0	175
当期総利益	481	840	▲ 359	臨時利益	6	658	▲ 652
合計	12,932	13,566	▲ 634	合計	12,932	13,566	▲ 634

※金額は、百万円未満を四捨五入して表示。

○キャッシュ・フロー計算書の概要

キャッシュ・フロー計算書は、一会計期間（毎年4月1日から3月31日）における資金収支の状況を一定の活動区分別に表示し、国立大学法人の活動を資金の流れから表すものです。

- ・「業務活動によるキャッシュ・フロー」は、通常の業務の実施に係る資金の出入りを表示しています。
- ・「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、将来に向けた運営基盤確立を目的とした固定資産の取得、資金運用などに係る資金の出入りを表示しています。
- ・「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、借入金などによる資金調達や返済などに係る資金の出入りを表示しています。

○キャッシュ・フロー計算書（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

（単位：百万円）

	22年度	21年度	対前年度増減額
業務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 21	1,893	▲ 1,914
原材料、商品又はサービスの購入による支出	▲ 2,545	▲ 2,393	▲ 152
人件費支出	▲ 8,740	▲ 8,814	74
その他の業務支出	▲ 512	▲ 617	105
運営費交付金収入	6,277	6,512	▲ 235
授業料収入等	5,044	5,049	▲ 5
受託研究等収入等	520	486	34
補助金等収入	138	1,199	▲ 1,061
寄附金収入	216	225	▲ 9
その他	▲ 420	246	▲ 666
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 2,184	▲ 1,199	▲ 985
定期預金預入による支出	▲ 8,700	▲ 5,800	▲ 2,900
定期預金払戻による収入	8,200	5,800	2,400
長期性預金預入による支出	▲ 200	▲ 200	0
有価証券取得による支出	0	▲ 4,700	4,700
有価証券償還による収入	0	4,800	▲ 4,800
固定資産の取得による支出	▲ 1,680	▲ 1,917	237
施設費による収入	188	810	▲ 622
施設費の精算による返還	0	▲ 1	1
利息の受取額	8	8	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	146	▲ 151	297
リース債務償還額	▲ 147	▲ 142	▲ 5
その他	300	0	300
利息の支払額	▲ 6	▲ 8	2
資金増加額(又は減少額)	▲ 2,059	543	▲ 2,602
資金期首残高	3,633	3,090	543
資金期末残高	1,574	3,633	▲ 2,059

※記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示。

○国立大学法人等業務実施コスト計算書の概要

国立大学法人等業務実施コスト計算書は、国立大学法人等の業務運営に関して、国民が負担するコスト（税金で賄われているもの）を集約し、情報開示の徹底を図り、納税者である国民の皆様の国立大学等における業務に対する評価・判断に資するためのものです。

○国立大学法人等業務実施コスト計算書（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

（単位：百万円）

	22年度	21年度	対前年度増減額
業務費用	6,153	6,627	▲ 474
損益計算上の費用	12,451	12,727	▲ 276
業務費	11,933	12,121	▲ 188
一般管理費	506	597	▲ 91
財務費用等	6	8	▲ 2
臨時損失	6	1	5
自己収入等(控除)	▲ 6,298	▲ 6,100	▲ 198
授業料収益等	▲ 5,081	▲ 4,946	▲ 135
受託研究等収益等	▲ 558	▲ 463	▲ 95
寄附金収益	▲ 258	▲ 296	38
資産見返運営費交付金等戻入等	▲ 264	▲ 248	▲ 16
財務収益	▲ 6	▲ 9	3
雑益等	▲ 131	▲ 138	7
損益外減価償却相当額	802	803	▲ 1
損益外除売却差額相当額	27	0	27
引当外賞与増加見積額	▲ 23	▲ 5	▲ 18
引当外退職給付増加見積額	160	▲ 70	230
機会費用	854	959	▲ 105
合計	7,973	8,314	▲ 341

※記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示。



研こう！知と技 埼玉大学

国立大学法人 埼玉大学
財務部財務課

〒338-8570

埼玉県さいたま市桜区下大久保255

TEL 048-858-9143

Eメール zaimu-sikei@ml.saitama-u.ac.jp